

第3回
新型コロナウイルス感染症の
感染動向の推移を評価する打合せ会
専門家の意見

新型コロナウイルス感染症の感染動向の推移を 評価する打合せ会における専門家の意見①

4連休が明けたこの1週間、新型コロナウイルス感染症患者が激増しています。病床利用率が60%を超過する地域もあります。

年齢も20-30歳台の患者数が約45%を占め、60歳未満の患者が全体の95%となりました。

新規患者数は全県的に多いのですが、千葉市の医療圏の増加速度が顕著です。

変異株については、半数以上がデルタ株（インド株）に置き換わっています。

65歳以上のワクチン接種率は約84%（1回目接種）となり、高い接種率が示されました。

患者数の増加が著しく、指数関数的増加になっています。千葉県指標でいうフェーズ4への移行も目前です。さらなるベッドが必要になり、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行うためには、救急医療はじめ通常医療の縮小が目前に迫っています。

これまでの感染対策で最も効果的であったのは人流を抑制することです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するためにも、不要不急の移動を是非我慢してください。

新型コロナウイルス感染症の感染動向の推移を 評価する打合せ会における専門家の意見②

現状の評価と今後の見通し

- 千葉県内での感染者数がかつてない勢いで急増している。
- 入院患者に占める高齢者の割合は依然低い状態であり、ワクチン接種の有効性が非常に高いことが示唆される。
- 中等症患者の入院数が大幅に増加してきており、重症患者数も今後大幅に増えることは確実と考えられる。
- 自宅療養者の増加に伴い、夜間の救急要請や搬送事例が増加してきている。
- 入院や転院調整に時間を要する事例も増えてきている。
- 蔓延防止等重点措置が延長された地域においても、人流の減少は限定的であり、今の状態のままでは、感染者数が減少に転じることは考えにくい。

必要な対策

- 緊急事態宣言を含む、人の接触を減らすための措置をできる限り速やかに実施する。
- 流行の中心である若年層に響くように、具体的なメッセージ（同居家族以外とは一緒に食事をしない、出かけない、数人以上では集まらない等）を適切な媒体で伝える。
- パルスオキシメーターの配布、在宅酸素導入の準備、入院待機酸素ステーションの設置等、急増する在宅療養患者のケアを行う仕組みを早急に整備する。
- 酸素投与の不要な患者の入院、重症対応の不要な患者の転院を抑制し、現在利用可能な入院病床をできる限り有効に活用する。
- 高齢者だけではなく、若い世代にワクチン接種を行うことが、流行拡大抑制に有効と考えられるため、可能な限り速やかにワクチン接種を進める。